

【どけん子ども食堂】

今月は4月25日(土)

【支部公式X 旧: Twitter】



# またたま

第617号 2026年4月号

組織現勢2715人 4/1(仮)現勢

東京土建一般労働組合  
府中国立支部教宣部

発行者 きたたま編集委員会

事務所 府中市晴見町2-15-5

電話 042-363-6554(代)

FAX 042-363-6847

http://www.doken-fk.com/

# 東京土建で春爛漫

## ～春はイベント・レクがもりだくさん～

# 「東京土建に相談」を合言葉に

寒かった冬が終わり、ようやく新たな季節が訪れました。新たな門出や出会いのある春、新たな気持ちで仕事に向かう方も多いかと思えます。

組合では4月より「春の仲間づくり月間」がスタートしました。皆さんのお手元へ仲間づくり月間のイベントや取り組みが一冊にまとめられた「メリット集」や各種チラシが届き始めています。

後継者部「野菜収穫&BBQ」、青年部「お好み焼き交流会」、主婦の会「夏をのりきる健康管理学習会」、シニア友の会「歩こう会サントリービール工場」、事業主交流「東京湾de釣り」、その他にも支部会館で開催される資格講習、5月から7月に毎月開催される日曜集団健診などイベント目白押し！

6月には組合のビッグイベント「住宅デー」が今年も開催されます。もちろん起業・独立や健康保険・労働保険、CCUS登録やインボイスのことなど仕事に関わるお悩みのご相談も受け付けています。

「東京土建に相談！」を合言葉に仲間の輪を広げましょう！

### 《青年部》

#### 春の新歓！ お好み焼き交流会

【日時】5月30日(土) 19時

【会場】もじ蔵 国立店

【対象】青年部世代の組合員とその家族

【参加費】大人 2,000円

【締切】5月22日(金)



### 《後継者部》

#### 野菜収穫 & BBQ

【日時】5月31日(日) 9時45分

【現地】くにたちはたけんぼ

【対象】55歳未満の組合員とその配偶者と子

【参加費】おとな1,000円、こども無料

【締切】5月25日(金)

野菜の収穫体験収穫した野菜を使ってBBQ



### 《事業主交流》

#### 一艘貸切！ 東京湾de釣り！

【日時】6月21日(日) 朝6時

【集合】横浜小柴「三喜丸」(金沢八景)

【参加費】6,000円

【対象】事業主・役員



### 《シニア友の会》

#### 歩こう会

『サントリービール工場』

【日時】5月27日(水) 9時

【集合】府中駅改札外

【対象】シニア友の会会員



### 《主婦の会》

#### 学習会

『夏をのりきる健康管理』

【日時】5月12日(土) 13時30分

【場所】支部会館

【講師】土建国保健康増進課



### 道 具 箱

▼昨年4月に40歳になりました。ある人に「不惑の40歳ですね」と言われましたが、意味が分からずあたまの中が「マークでいっばいになりました。不惑の意味は別にして、ダブル成人式を迎えて、ふと思うことがあります。府中市の西原町で育ち、その後、北山町↓中河原と府中市の西半分を転々としていました。中河原時代に結婚し、現在居住する白糸台に越してから、娘が生まれました。その娘も4歳になりました。息子は18歳、今年就職します。

そして昨年、父が亡くなりました。子どもの頃に父に連れられて、組合の取組みに参加したことを覚えています。仕事も父から教わりました。その父が亡くなり、仕事のつながりをつくるのがいかに大切かを痛感する日々です。

▼パチンコ三昧だった20代から30代、今は月の小遣い35,000円でタバコから昼めしから何から何までやりくりしていますが、家族の将来、特に子供の将来のためと思えば、苦勞でも何でもありません。家族のために働き、家族のために生きる喜びをようやく感じられるようになりました。

▼組合に加入したのは19歳の時、もう人生の半分以上を組合で過ごしています。次の20年で何が起るのか何だかワクワクします。

(鶴代 三浦 康廣)

# 3.13

## 重税反対総行動

3月13日、重税反対統一行動が、武蔵府中税務署管轄はルミエール府中で、立川税務署管轄は立川RISURUホールを中心に開催されました。ルミエール府中では集会后に消武蔵府中税務署までデモパレード、その後、集団申告を行いました。また立川RISURUホールでは全体集会后に立川税務署まで集団申告デモ行進を行い、午後は税務署以外の関係各所（市役所や労基署などの公的機関・金融機関など）に諸要求を要請しました。支部からは武蔵府中、立川合わせて40名が参加。



今回の重税反対統一行動は引き続き物価高騰とインボイス制度の導入により、暮らしも仕事も経営も苦しむ中で消費税増税の目論見や防衛増税、医療費窓口負担増などの社会保障切り下げの動きなど私たち庶民の暮らしを直撃する重税、負担増の連続に参加者の怒りも最高潮、寒い中でも熱いデモ行進となりました。

重税反対統一行動は今年で56回目となります。強権的な税務調査や申告額のつり上げなどが横行していた1960年代に「税務署の横暴を許すな」「自主申告の権利を守ろう」と税務署に集団で申告書を提出したのが始まりといわれています。この日は私たちの切実な要求実現の声を府中から、立川から全国に響き渡らせた一日となりました。

萩往還の風と、阿武川の清流に育まれた日々

私の故郷、山口県の佐々並(ささなみ)は、今思い出しも息をのむほど美しい場所でした。家のすぐ裏手には、かつて毛利の殿様が参勤交代で通った歴史ある街道「萩往還」が走り、周囲には白壁の宿場町と見渡す限りの田んぼが広がっていました。子供の頃の最高の遊び場は、川底の小石が透き通って見えるほど清らかな阿武川です。何よりの楽しみは、遊び道具を自分の手で作り上げることでした。例えば鮎を突く「しやくり」、節の詰まった粘

りのある竹を選び、先端を四つほどに割り広げ、細い竹の破片を噛ませて傘のようにならせ、それぞれの先に鋭い針を糸で固く巻き付けました。水中に潜り、岩陰で休む鮎の動きを読みながら、竹の反発力を利用して一気に突き出すこの道具は、自作だからこそ手に馴染み、面白いように獲物が取れました。

夕暮れ時になると、今度は「流し針」の出番です。丈夫な糸に針を結び、川の流れに負けないよう適度な重りを固定します。ミミズなどの餌を付け、ウナギが好みそうな岩の隙間や、流

れが緩やかになる深みの形状を見極めながら仕掛けを沈めておくのです。翌朝、期待を込めて糸を引き上げる瞬間の、指先に伝わる特有の手応えは今も忘れません。

「ないものは、知恵を絞って自分の手で作る」。思えば、八十六歳になるまで続けてきた大工という仕事の原点は、材料の性質を考え、川の流れを読みながら、夢中で細工に没頭したあの阿武川のほとりにありました。

伝統ある宿場町の活気と、清らかな水の流れ。あの豊かな故郷の風景こそが、私の職人としての魂を形作ってくれたと思っています。

(中河原 長井和美)



清流阿武川と美しい山並み



古き良き街並みが残る萩市佐々並

## 日比谷に、霞が関に響いた「諸要求実現！」 3.5 国民春闘総決起行動

3月5日、建設アクションは国民春闘共闘、全労連などの諸団体とともに「26春闘勝利！ 3・5総決起行動」を実施しました。

府財界は昨年程度の賃上げを維持するとしていますが、アメリカ・イスラエルによるイラン侵攻により世界情勢の不安定化のもと、物価高に歯止めがつかない状況が続いています。

さらにはたばこ税、所得税の増税は軍拡増税といえます。そうした中で今回の行動は労働者・国民の生活改善のために月当たり3万3千円の賃上げを求めるものとなりました。

日比谷公園「かもめの広場」での集会后に、松本勇一執行委員長を先頭にデモパレードに出発。日比谷公園から厚生労働省、経済産

業省、国会前から旧永田町小学校までという今までにないデモコースでしたが、参加者18名が「賃金単価引き上げ」「戦争反対」「軍拡増税よりも物価高騰対策を」などそれぞれの思いを込めたプラカードで日比谷から霞が関、永田町に猛烈アピールをしました。



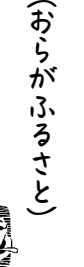
今年もメシデシデコ制作スタート

今年もド派手に！ メシデコ製作がスタートしました。今年のデコ製作も青年部が主体となって取り組まれています。仕事が終わって集まって、ワイワイ。新たな仲間も加わって、支部会館1階駐車場で作業が進められています。さて今年のデコのテーマはズバリ「平和」。今年は何が出来上がるのか、5月1日の三菱摩メデー当日のぞいて期待ですね。

### 各会総会・定期大会

<b>後継者部</b> (3/7 後継者部定期大会)	<b>シニア友の会</b> (3/18 シニア友の会総会)
部長 小林 敬介(鶴代)	会長 小山 隆一(鶴代)
書記長 松元一昭(鶴代) 新	事務局長 五林エイ子
副部長 坂本 祐気(鶴代) 新	副会長 窪田 一男(人見)
北嶋 繁(中河原)	高橋 利夫(国立)
<b>青年部</b> (3/21 青年部大会)	大橋 美江(いちよう)
部長 本田 大季(北美)	監査 長井 和美(中河原)
書記長 横濱康太郎(日吉) 新	<b>PALの会</b> (2/24 PALの会総会)
副部長 櫻澤 郁弥(国立)	会長 古畑 将樹(いちよう) 新
<b>主婦の会</b> (3/10 主婦の会総会)	幹事長 大橋信太郎(国立)
会長 高橋美智子(中河原)	副会長 藤島 正敏(いちよう) 新
事務局長 岡本かおる(鶴代)	杉本 恵二(いちよう)
副会長 太田 真紀(中河原)	
副会長 海老澤智子(中河原)※待遇	

### 田舎自慢



第61回・山口県萩市佐々並

萩往還の風と、阿武川の清流に育まれた日々

私の故郷、山口県の佐々並(ささなみ)は、今思い出しも息をのむほど美しい場所でした。家のすぐ裏手には、かつて毛利の殿様が参勤交代で通った歴史ある街道「萩往還」が走り、周囲には白壁の宿場町と見渡す限りの田んぼが広がっていました。子供の頃の最高の遊び場は、川底の小石が透き通って見えるほど清らかな阿武川です。何よりの楽しみは、遊び道具を自分の手で作り上げることでした。例えば鮎を突く「しやくり」、節の詰まった粘

**無料法律相談**  
4月24日(金)  
13:30~支部会館  
※事前の電話予約が必要です

**支部休館日**  
4月30日(木) 午後  
5月1日(金) 終日

**求人**  
有限会社黎明工業  
募集職種：建具工事  
条件：不問 日常会話ができる外国人の方も大歓迎  
連絡先：090-6470-5270